

事務事業名 ふれあいいきいきサロン補助事業

出力日：令和02年03月19日

キーコード：1754

施策：	15	地域福祉の推進	財務コード	01030101-24-00
基本事業：	01	地域で支えあい、助け合う仕組みづくり	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	身近な近所づきあいができている市民の割合 見守り活動により見守られている市民数 災害時要援護者が近くにいることを知っている市民の割合		担当課	生活福祉課
			担当係	地域福祉担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分			実施計画	
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
筑紫野市社会福祉協議会			筑紫野市社会福祉協議会が実施するサロン活動に対して補助を行う。 地域福祉活動推進事業として以下の事業を実施 ・ふれあいいきいきサロン補助事業 ふれあいいきいきサロン 地域住民が気軽に集える場所をつくることを通じて、地域の「仲間づくり」「出会いの場づくり」「健康づくり」をするための活動。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
筑紫野市全域で高齢者のつながりや支え合いが生まれ、地域福祉を進めることができる。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	29年度 実績	30年度 実績	01年度 当初	02年度 要求	03年度 計画	04年度 計画	目標
サロン開催回数		回	1,900	1,957	2,000	2,000			2,000
5. コスト									
事業費		計	千円	2,771	2,631	2,631	2,657		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0		
一般	千円	2,771	2,631	2,631	2,657				
正職員人工数		人工	0	0.02	0.04				
正職員人件費		千円	0	162	323				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	2,771	2,793	2,954	2,657			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている	地域の孤立化（高齢者、障がい者、子育て）を防ぐ目的として、寄り合いの場所としてのサロンを各行政区で開設する。その開設のための指導等を社会福祉協議会が展開している。								
どちらかといえばあがっている	地域包括ケアシステムの推進も踏まえ、病気予防等につながるさまざまな活動を、サロンを通して展開している。								
あがっていない（停滞・低下）									
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし	< 状況 > < 原因 > < 課題 >					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし						
成果向上余地	小さい								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
各事業毎に業務精査を行い、平成27年度から本補助事業へと移行した。				備考・特記事項 or 進行管理欄					